

5月24日(木)川をめでかの学校にしよう

酪農家の東 敏則さん(☎ 富納)が、自分の牧場で飼育している“めでか”を泗水町内の4保育園と幼稚園に寄贈しました。東さんは「めでかを育てることで、水と川をきれいにすることの大切さを子どもたちに理解してもらおう」と“日本めでか”、“緋めでか”、“ピンクめでか”の3種類、約50匹をそれぞれ持って各施設を訪問しました。

各施設では、東さんが「めでかは、川や水路に良く見られた魚ですが、今ではあまり見られなくなりました。水をきれいにしてめでかの学校ができるように育ててください」と挨拶すると、園児たちは「大切に育てます」と元気に答え、水槽の中で元気に泳ぐめでかたちを、興味深げにのぞいていました。



寄贈された“めでか”に興味深げに見る子どもたち

5月27日(日)烈士館の子どもたちが全国大会に出場決定

第26回熊本県少年少女空手道練成大会兼第7回全日本少年少女空手道選手権大会予選会が山鹿市総合体育館であり、全国大会を目指して熱戦が繰り広げられました。その結果、8月5日(日)に東京武道館で行われる全国大会に下記の2人が出場します。市民の皆さんの応援をお願いします。(敬称略)

- 1年男子 組手の部
中松亮太(烈士館・戸崎小)
- 2年男子 形の部
園田伊織(烈士館・七城小)



6月5日(火)菊池市管工事組合がボランティア活動

菊池市管工事組合(土本勝洋組合長・16社)が、6月1日~7日の「水道週間」の一環としてボランティア活動を行いました。毎年水道週間に合わせて行われているもので、今回は菊池市役所本庁舎正面にある花壇への散水をスムーズに行えるようにする「散水栓の設置」と、菊池市内に布設してある「仕切弁ボックスの清掃作業」が行われました。

組合員たちは、気温30度を超す猛暑の中、日ごろ使い慣れた道具や機械を使い、手際よく作業を進めていました。

土本組合長は「管工事組合は“水のおまわりさん”として、水道水の安全で安定した供給のため日々努力しています。今後もボランティア活動を積極的に行いながら管工事組合の活動をアピールしていきたいです」と話されました。

また、このほかにも社会貢献活動として、今後「七城メロンドーム」や「道の駅旭志」の空き缶拾いと清掃が予定されています。ボランティアでの作業、お疲れ様でした。



菊池市役所本庁舎前で「散水栓の設置」のための作業をする組合員たち

5月28日(月)農林水産大臣賞に高野政徳さん

平成19年度熊本県乾しいたけ品評会表彰式が熊本市の熊本県椎茸農業協同組合であり、高野政徳(☎ 伊牟田)さんが700gの部で特等賞を受賞しました。県内から出品数が100点あった中での栄誉です。

また、出品数が多い市町村に送られる団体賞では、今年も菊池市が受賞しました。さらにこの日は、併せて第46回農林水産祭の表彰も行われ、こちらでも高野政徳さんが農林水産大臣賞を受賞しました。

高野さんは、受賞者代表謝辞の中で「本日の受賞を励みとして、今後ともしいたけ栽培技術の研鑽に努めたい」と受賞の喜びを話されました。

この他にも市内より多数の人が大箱の部、700gの部で入賞されています。おめでとうございます。

受賞者代表謝辞を述べる高野さん(左)農林水産大臣賞を受賞した椎茸(右)



5月17日(木)ロータリークラブが交通安全呼びかけ

菊池ロータリークラブ(稲継巧会長)が、野間口の国道387号線沿いで、ドライバーに交通安全を呼びかけました。

毎年、社会奉仕活動のひとつとして「春の全国交通安全運動」に併せて行っているもので、約30人の会員が「安全運転に心がけてください」と声を掛けながら、山鹿方面から菊池温泉街へ向かう約300台の車に飲酒運転撲滅推進のチラシやボールペン、ガムを配りました。

参加した会員は「安心して安全な菊池市のために、少しでも役立てれば幸いです」と話されました。



ドライバーにチラシなどを配る会員

5月19日(土)第1回土曜体験教室でニュースポーツを体験

土曜体験教室「ニュースポーツを楽しもう!!」が、菊池市体育センターでありました。市内の小学生23人とその保護者が参加し、カローリング、ドッジビー、アジャタの3種目を体験しました。

カローリングは10m先の的を目掛けてジェットローラーを投げ、得点を競うもので、ドッジビーはドッジボールのボールがフライングディスクに変わったもの。また、アジャタは100個の玉をいかに速くバスケットに入れてしまうかを競うものです。

参加者は今までにあまり体験したことのない競技に苦戦しながらも、回数を重ねることに力加減を覚えたり、協力しあいながら新しいスポーツを楽しみました。

参加した親子は「カローリングはみんなで作戦を立てて得点が取れました。子どもと一緒に楽しんで、ついつい本気になってしまいました」と話されました。



カローリング競技で的を目掛けてジェットローラーを投げる子ども

5月26日(土)2007kikuchiホタルフェスタin旭志が盛会に開催

ホタルフェスタin旭志が小原グラウンドで開催されました。菊池市は、ホタルを楽しめる県下有数のポイントとして広く知れ渡っており、中でも旭志地域には、毎年、県内外から多くの見物客が訪れています。

開会式では、旭志ホタルフェスタ実行委員会の隈部昭敏会長の開会宣言の後、菊池市長が「菊池市は、七城地区のホタルフェスタから本日の旭志地区のホタルフェスタまで、長期間に渡りホタルを楽しむことができる有数のホタルの里と自負しています。淡い光であるけれども、強い印象を心に残してくれるホタルのひかりにつつまれながら、この旭志地区でのひと時を堪能してください」と歓迎のあいさつ。

特設ステージではホタルの音楽祭と銘打って、七城天守太鼓を皮切りにメリーホッパーズのバトン演技、菊池女子高生による菊池千本槍演舞が披露され、見事な演奏や演技に会場から大きな拍手が起きていました。また、陸上自衛隊第8音楽隊の演奏が始まると、ほたるを見物に訪れた人たちも足を止め、演奏に聞き入っていました。カントアマービレによる合唱の後、旭志中学生による幻想的なほたるセレナーデ踊りで幕を閉じました。

会場には、JA旭志青年部、商工会青年部及び女性部、母子会、青年団、四季の里、物産館出資組合から出店があり、特産の旭志牛をはじめ地鶏やホタルまんじゅうなどで菊池の味をアピールしました。

観光客のひとりには「自然のなかで乱舞するホタルを楽しみに毎年訪れています。このすばらしい環境を守り続けている地域の人たちやお祭りのボランティアの人たちに感謝します」と話されていました。本槍演舞が披露され、見事な演奏や演技に会場から大きな拍手が起きていました。また、熊本陸上自衛隊第8音楽隊の演奏が始まると、ほたるを見物に訪れた人たちも足を止め、演奏に聞き入っていました。カントアマービレによる合唱の後、旭志中学生による幻想的なほたるセレナーデ踊りで幕を閉じました。

会場には、JA旭志青年部、商工会青年部及び女性部、母子会、青年団、四季の里、物産館出資組合から出店があり、特産の旭志牛をはじめ地鶏やホタルまんじゅうなどで菊池の味をアピールしました。

観光客のひとりには「自然のなかで乱舞するホタルを楽しみに毎年訪れています。このすばらしい環境を守り続けている地域の人たちやお祭りのボランティアの人たちに感謝します」と話されました。



陸上自衛隊第8音楽隊の演奏



旭志中学生による幻想的なほたるセレナーデ踊り